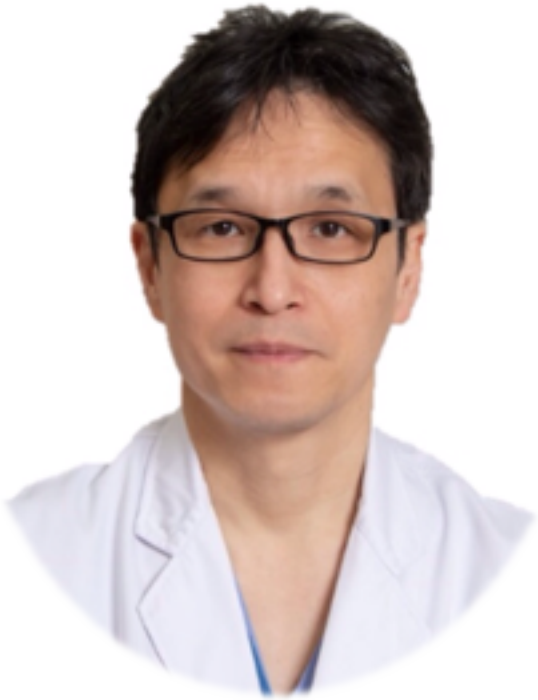
秋田大学大学院医学系研究科
麻酔蘇生疼痛管理学講座

医学部臨床実習サポートアプリケーションの開発
-シラバスメモ ・ Q&Aマッチングシステム-

秋田大学大学院医学系研究科医学専攻
病態制御医学系 麻酔・蘇生・疼痛管理学講座

発表者：鵜沼　篤
教　授：新山　幸俊

秋田大学大学院医学系研究科
麻酔蘇生疼痛管理学講座



発表者
鵜沼　篤
医員

新山　幸俊
教授

臨床実習

教科書的知識

⬇

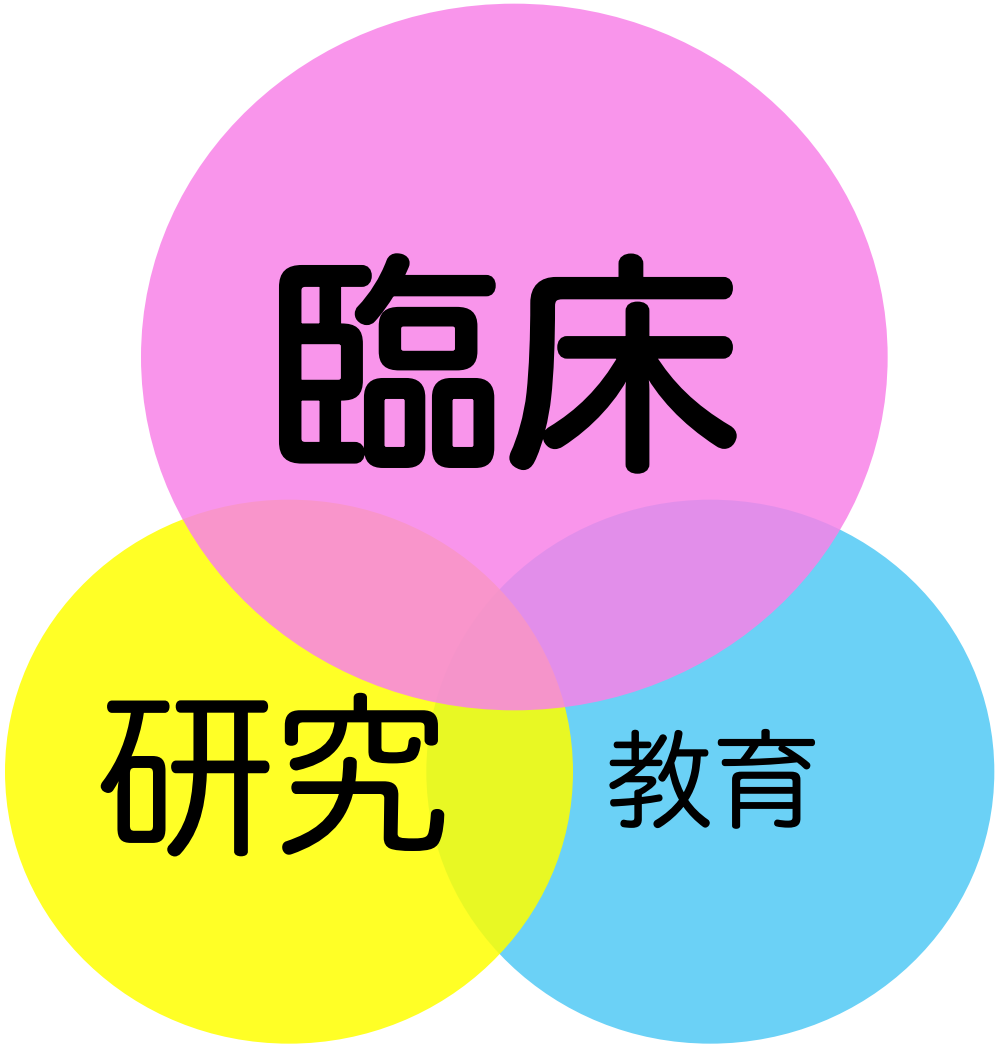
患者さんごとに考える

誰一人同じでない！

病状・年齢・体力など

＋**社会的背景**なども考慮

医療現場の実態 → 医学部臨床実習



全ての診療科(30科目前後)
わずか2週間ごとにローテート

学ぶべきことは多岐

学びは経験が中心

↓

体系的・網羅的ではない…

問診

身体診察

非言語的な情報

学生一人ひとりに**異なる学び**がある！

学びの共有

ミッション

ともに学び、考え、成長できる学習基盤づくり

臨床現場の学びにフォーカス

4つのビジョン

アプリケーション

① 知識と経験の蓄積

② 学びの客観的評価システム

③ “学びたい” と “教えたい” の合致

④ 学生・教員(医師)の負担軽減

Ⅰ. シラバスメモ

① 知識と経験の蓄積
② 学びの客観的評価システム
④ 学生・教員(医師)の負担軽減

第１章　学習ガイドライン

5）麻酔管理各論
1．腹部外科手術の麻酔 ……
2．腹腔鏡下手術の麻酔 ……
3．胸部外科手術の麻酔 ……
4．成人心臓外科手術の麻酔 ……

例) 日本麻酔科学会 教育ガイドラインより

・生理学
・術前評価
・術前準備
・麻酔中モニタリング
・麻酔法
・輸液管理
・術後合併症
・術後鎮痛法
・各種手術
・検査

keyword (タグづけ→検索可)

＃分離肺換気、#ダブルルーメンチューブ

memo (100字以内)

分離肺換気には一般的に左用ダブルルーメンチューブを選択する。

commentary (300字以内)

ダブルルーメンチューブには右用と左用がある。右主気管支長が約2.5cm、左主気管支長が約5cmと、上葉枝までの距離は左主気管支が長く、閉塞させるリスクが低い。右用ダブルルーメンチューブは上葉枝に被る前提で特殊な形状をしている。

figure (ダブレット端末などで直接記載可)

左用ダブルルーメンチューブ

(学籍番号、指導教員名)

卒業試験、国家試験、初期研修の強い味方に！

Ⅱ. Q&Aマッチングシステム

③ “学びたい” と “教えたい” の合致
④ 教育する医師の負担軽減

教育者

講義
参考資料の紹介
質問への**回答**

→

←

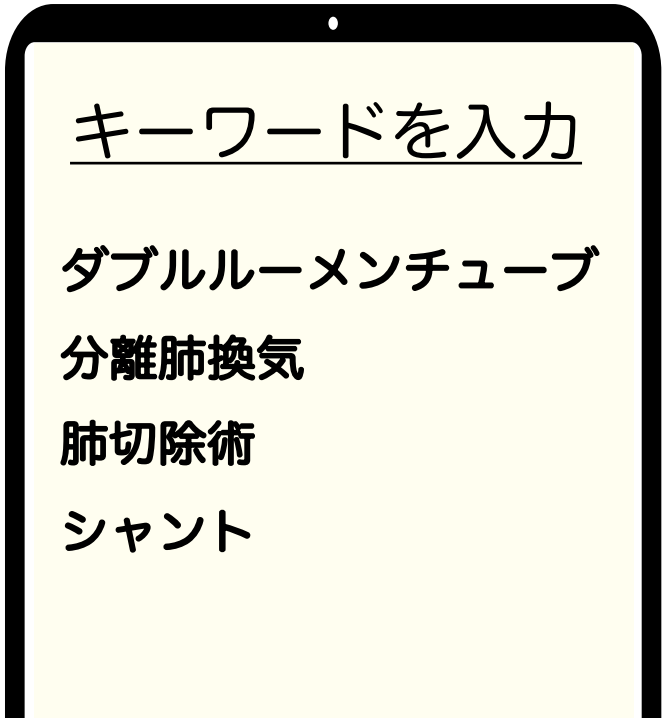
質問
アポイントメントの依頼

学生・研修医

Ⅲ. メディカルコーパス

① 知識と経験の蓄積

・ランキング形式
・自施設と全国施設との比較



蓄積

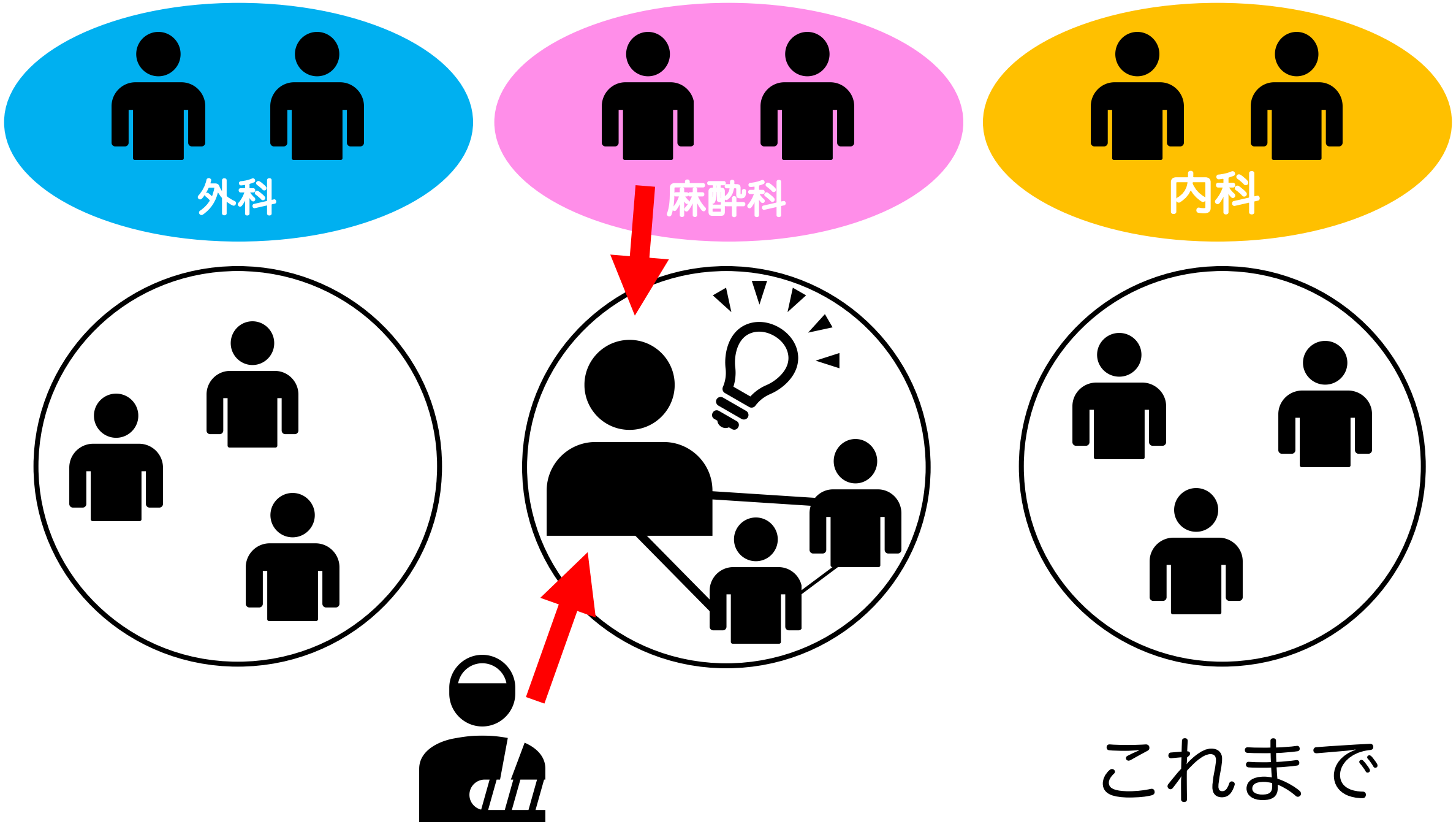
ダブルルーメンチューブ

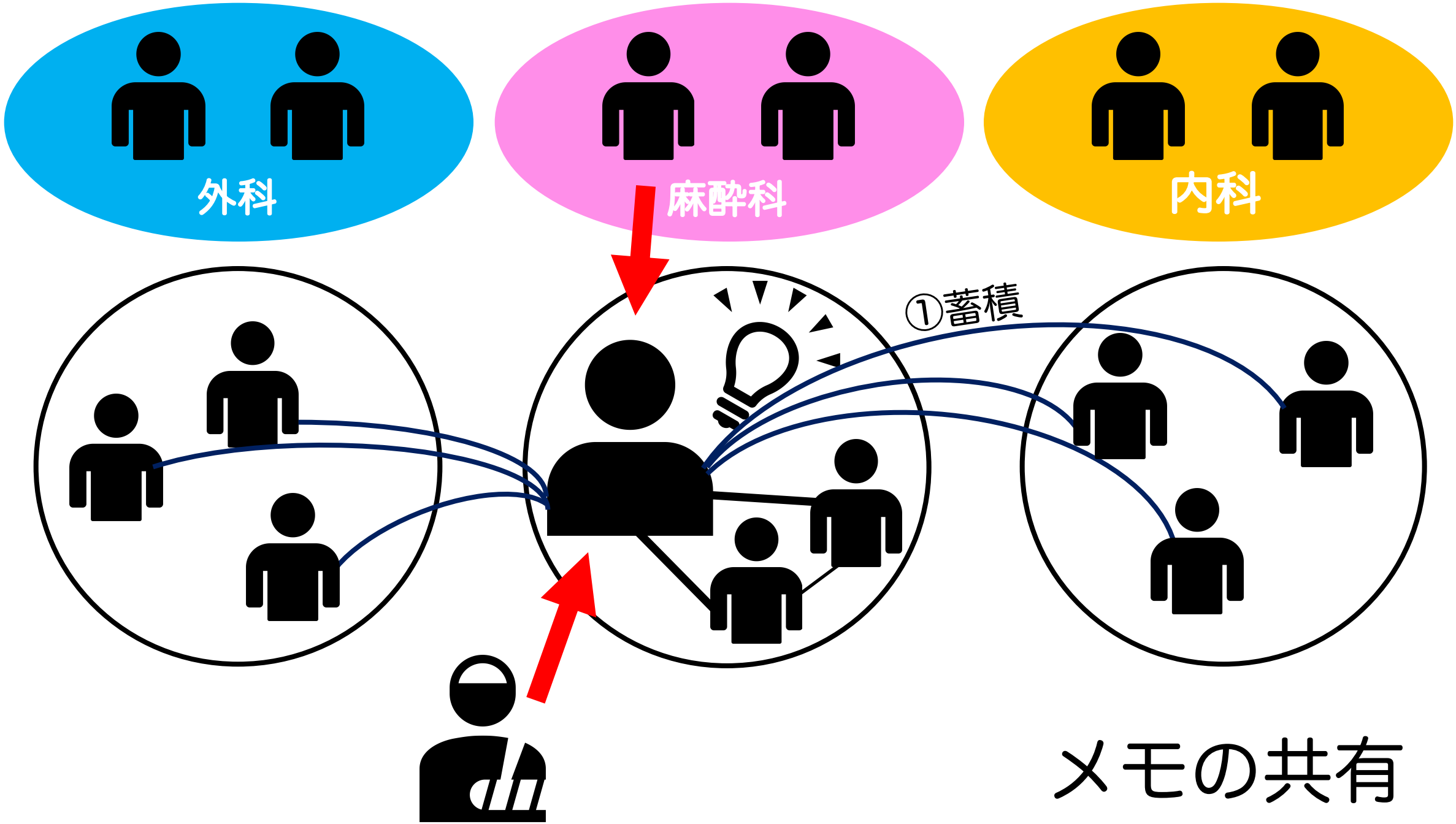
関連性

気管支鏡
ダブルルーメンチューブ
スリーブ切除
気管挿管
シャント
分離肺換気
肺切除
換気血流比

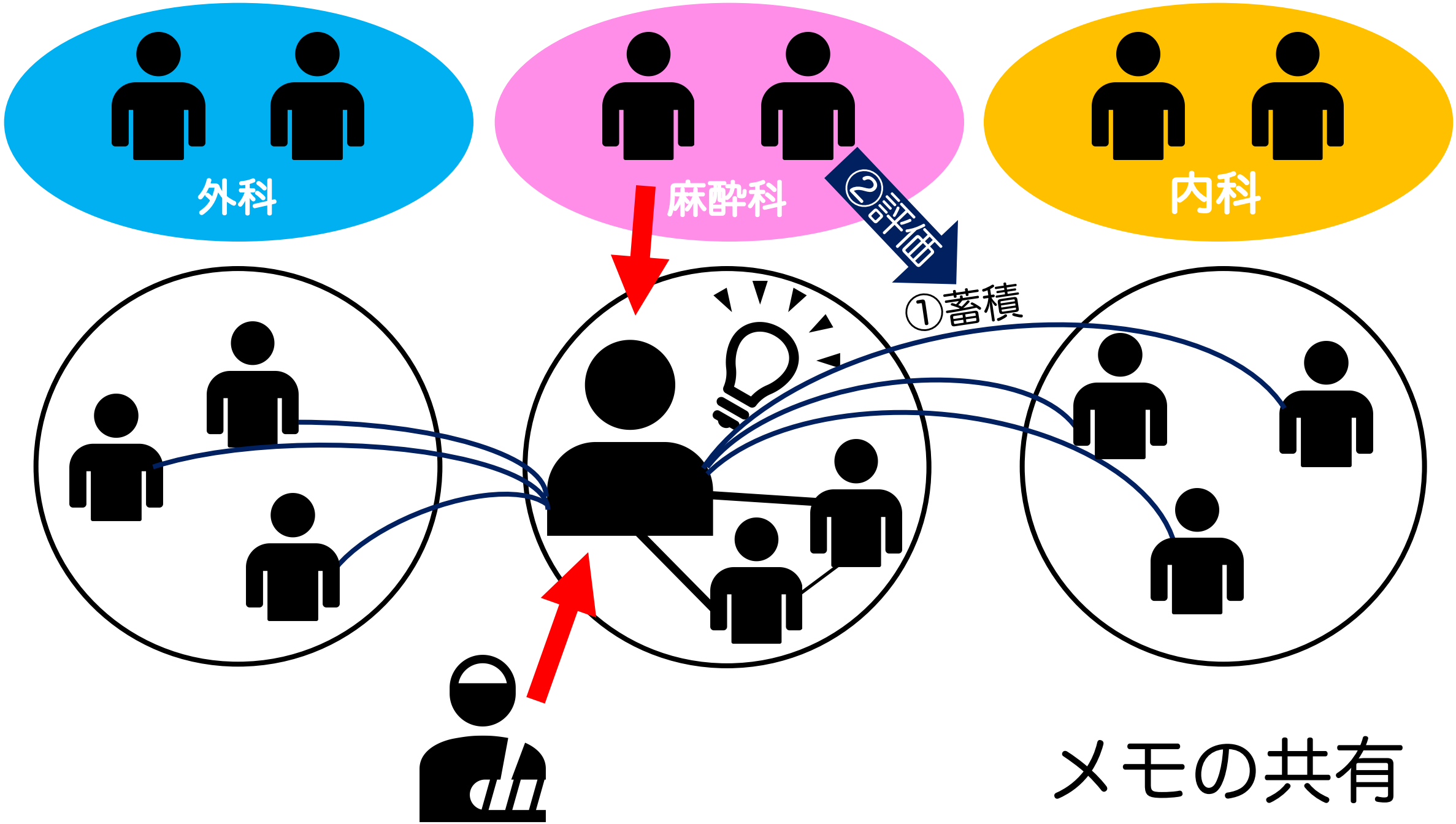
スピード感

学びの目印

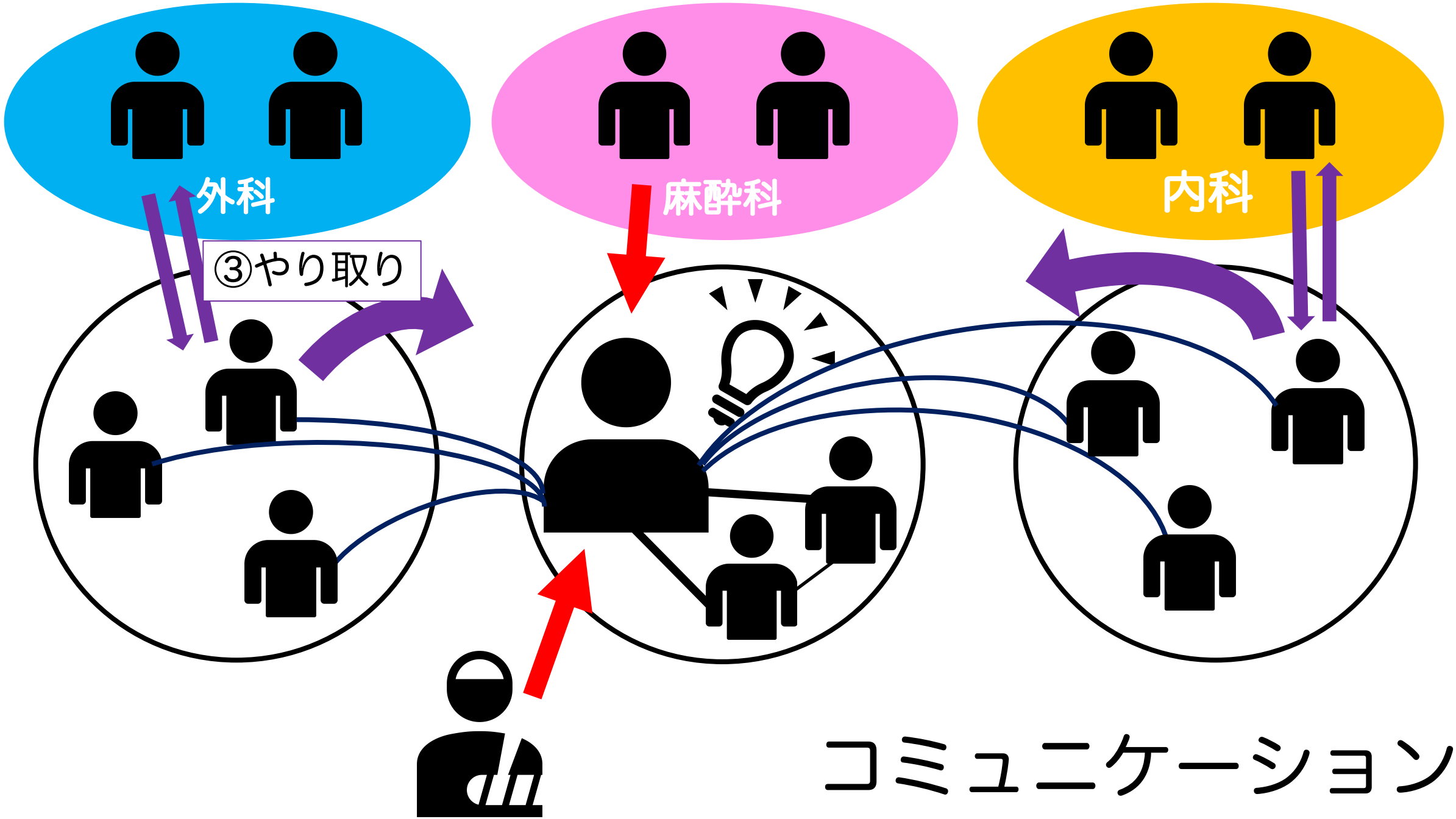

外科
麻酔科
内科
これまで



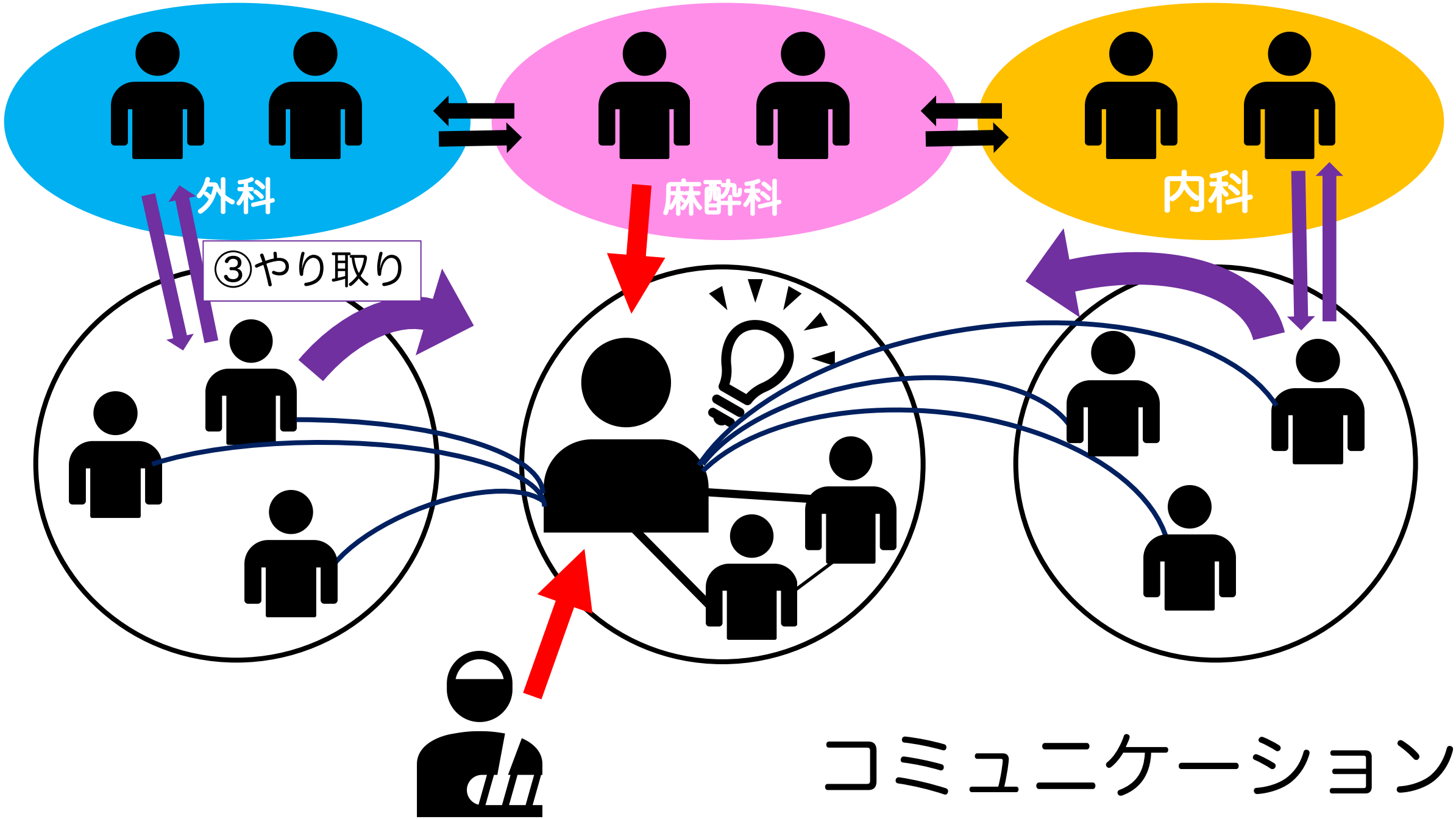
メモの共有



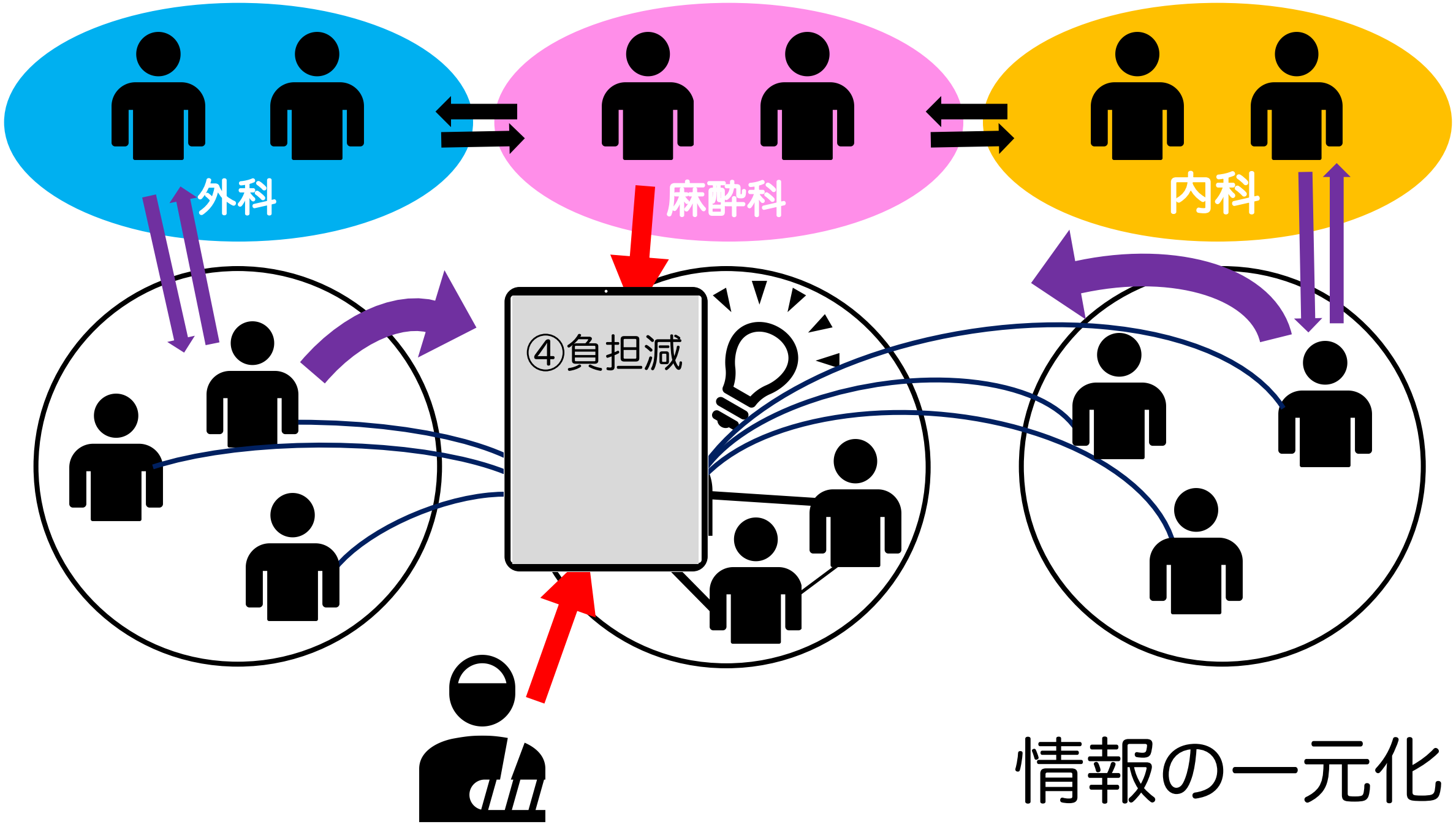
メモの共有



コミュニケーション



コミュニケーション



情報の一元化

医療系学生　約10万人/学年

(令和2年度全国入学者数)

医学生	9,330人/学年
看護学生	64,584人/学年
歯学部学生	2,342人/学年
薬学部生	11,602人/学年

臨床工学技士	理学療法士
臨床検査技師	言語聴覚士
作業療法士	医療事務など

他業種への応用

研究職，学校教育など

New Standard

設備投資

SDGs
医学部教育の底上げ

発展

プラットホーム

動画教材配信　　研修病院就活支援

SNS ・掲示板
・コラム

試験対策書籍とリンク

➡学生へのサポート

学びを

生命に

つなげたい

チームビルディング

- システム開発
- 医療系教育機関

新しい学習スタイルの探求

- 全国の臨床実習の**現状**
- 求められる**医学生像**
- 試験対策書籍との**差別化**
- **ユーザーが育てていく**コンテンツ

学びの再考

医療の底上げ